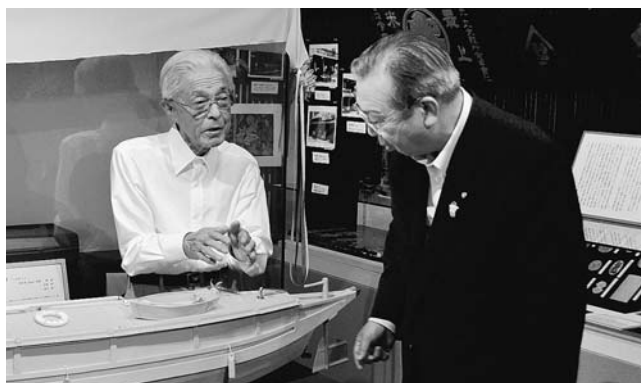


「大船模型の寄贈とお披露目の会」を開催

後藤勝さんと志朗さん 導治さん親子(北及)が、昭和30年代まで木曾川で使われていた大船の模型(10分の1)を制作されました。このたび、歴史民俗資料館が寄贈を受け、6月12日にそのお披露目の会を行いました。

その当時の写真や記憶をもとに、忠実に復元されています。常設展示をしていますので、ぜひご覧ください。



広島町長に説明をする後藤勝さん(左)



昭和13年頃の笠松湊のようす 岐阜県立第一工業学校アルバムより

大船は笠松湊から木曾川を往来し、上流から下流に炭や薪などを、下流から上流に海産物や麩^{かめ}などを運んでいました。また、潮干狩りにも利用していました。

笠松“ワケ知り”ウォークを開催しました

まちの駅駅長会議主催の『笠松“ワケ知り”ウォーク』が、笠松・下羽栗・松枝の地域の特色あるコースで開催されました。梅雨時にもかかわらずウォーク当日は日傘を差して、それぞれのコースを満喫しました。

3地域の史跡や「まちの駅」などを巡り、昼食は特製「まちの“駅弁”」を堪能しました。

参加者は「歩いてみると、新しい発見がある。また来年も参加したい」と話していました。



戦いの歴史を学びながら、トンボ池の自然を感じた下羽栗コース=6月15日



木曾川の恩恵で繁栄した町の歴史を散策した笠松コース=6月23日



点在する史跡を巡りウォーキングを楽しんだ松枝コース=7月7日